

平成30年度 第2回 松山市子ども・子育て会議 全体会 会議録

1. 日時

平成31年2月7日（木）10:00～10:35

2. 場所

松山市青少年センター 3階 大ホール

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員（16名）

相原真亜沙、井上もと子、上岡周介、大江保、香川実恵子、金谷めぐみ、恒吉和徳、富谷円枝、二宮一朗、堀田真奈、三浦和尚、村上出、森公夫、安田智美、安永耕造、山本良子
（五十音順、敬称略）

(2) 事務局

西岡子ども・子育て担当部長及び事業関係担当課等長並びに担当者

4. 傍聴の可否

可（傍聴者0名）

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 報告事項

①ニーズ調査結果について

②第2期松山市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュールについて

(3) 連絡事項

(4) 閉会

6. 配布資料

・会議次第

・配席図

・資料123 ニーズ調査結果について

・資料4 第2期松山市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュールについて

会議録

1. 開会

・事務局

それでは、ただ今から、平成30年度第2回松山市子ども・子育て会議を開会させていただきます。

本日の会議につきましては、委員総数20名のうち、16名のご出席をいただいております。過半数に達しておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定により、本会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

それでは、お手元に配布しております次第に沿って進行をさせていただきます。

まず、開会にあたりまして、

松山市保健福祉部子ども・子育て担当部の西岡部長が、ご挨拶を申し上げます。

～西岡担当部長挨拶～

・事務局

それでは、松山市子ども・子育て会議条例第6条第1項の規定により、これより先は、三浦会長に進行をお願いいたします。

三浦会長、よろしくお願いいたします。

2. 報告事項

・三浦会長

みなさんおはようございます。お忙しい中、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。昨今のニュースで、親に虐待されて亡くなったというニュースを聞きますと、胸が締め付けられて、涙が出そうな思いになります。そういう状況を少しでも防止するような動きになればいいなと心から願っております。

さて本日ですが、前回の全体会でニーズ調査のことについて方針等について確認させていただきました。予定どおり実施できたということですのでその内容について事務局からご報告をお願いいたします。

・事務局

～「ニーズ調査結果」について報告～

・三浦会長

ありがとうございました。ニーズ調査につきまして、回収率は、最終的に52.3%ということですので。アンケート項目が多くなると回収率がそれほど高くないという傾向はあります。今回は単純集計の報告ということですが、今後クロス集計等をしたうえで、分析をして施策に反映していくということですので。また、結果につきましてはホームページなどで公表しているというご報告です。今後、分析したものを新たにホームページ等で公表ということになると思います。この件につきまして、皆さんから何かご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

・井上委員

最初、いただいたときは、38.5%は少ないな、再度お願いしても 52.3%は少ないかなと感じておりました。実際に自分の子どもが就学前児童や小学生であれば、回答することは難しいものではないと思いますが、この回答されていない約 48%の方は、無関心と考えていいのでしょうか。

- ・三浦会長

一般的なアンケート調査と比べて特に少ないわけでもないし、多いわけでもないと思います。3つ4つの項目で、紙1枚というものでもありませんので、そういったことを考えたら結果的に妥当という言葉になるのかなと思います。事務局としても、再度のお願いなどの努力はしてこられたと理解しております。

- ・事務局

5年前の時は全体が 57.8%でしたので、それより 5%ほど下がっているのは、課題と思っています。50%になかなか届かないようなアンケートもあるように聞いております。まずは半分の50%は越えなければならないという、最低目標がありましたので、事務局の中では、それを越えたことについて、よかったと思っています。

- ・三浦会長

他にはいかがでしょうか。

- ・相原委員

私の家に届きまして、実際にアンケートを提出しました。感想としては、質問の項目はそれほど難しくなかったですが、時間が凄くかかりました。小さいお子さんがいたら、じっくり机に座って書くことは難しいかなと思います。次、5年後にされると思いますが、その頃には、もっともっと情報化社会になって、紙ベースでのアンケートは、もうないと思っています。やはり、電子化のアンケート形式にした方が、空いた時間で回答できたり、やりやすいのかなと思いました。ただ、それが不信感を抱く方もいらっしゃるかもしれないですが、このアンケート冊子が家に届く方法は、5年後には少し検討してみてもいいかなと思います。

- ・三浦会長

今のご時世ですから、ほとんどスマホを持っておられるような状況、あるいはパソコン関係もそろっておりますのでということだと思います。今のご発言のご趣旨は、回収の方法について、今後工夫の余地もあるのではないかとということによろしいでしょうか。

他にご意見ありますでしょうか。

- ・二宮委員

このアンケートの結果が、自分たちの子どもたちを育てていくことに、「凄く影響がある」ということを、もう少し訴えていく必要があると思います。アンケートが送られただけだと、アンケートに記入することに慣れてない方もいらっしゃると思いますので、「別に答えなくてよいか」と捉えてしまう可能性もあると思います。もう一点、アンケートに記載して、回答されているのが、未就学児童の世帯も小学生の世帯も回答したのが、90%母親でした。私も小学生がいるのでアンケートが届きました。私は、数少ない父親として、責任もって回答しました。お母さんもお父さんも忙しいと思いますが、お父さんでも十分答えられる項目だったと思いますので、周知の方法を考えていただければと思います。例えば、「子育てのことをこれだけ考えているのです

よ」ということを、松山市長さん自身が、もっとアピールされても回収率が上がってくると思います。次回、今後もまたあると思いますので考えていただきたいと思います。

- ・三浦会長

ニーズ調査ですので回収率ができるだけ高い方がいいというのは当たり前のことですから、色々な工夫を今後お願いします。ということです。

- ・香川委員

結果のアウトプットをQRコードということで、見させていただいたのですが、この紙ベースの集計表が、PDFで出ているのかなと思います。結果が非常に詳細に分かりますが、もう少しコンパクトに分かりやすく、ピンポイントだけでも構わないので、忙しい中でも見られるようにしていただきたいなと思います。また、関連の項目のところに、市の活動とリンクするような場所があって、リンクしたらそのことについて詳しく知ることができるというような工夫もできればいいかなと感じました。

- ・三浦会長

ありがとうございました。ポイントを少し整理して提出してほしいということです。今後分析した後のものをどう公表するかということにも関わると思いますので、事務局をお願いします。

- ・事務局

代表的な項目や印象的なところを抜き出すなど、どういった形で見やすいようにできるのか考えていきたいと思います。

また、結果をQRコードで見えるようにしましたが、アンケートの最後に支援サービスの説明にもQRコードをつけてお送りしたところ、何名かの方から見やすい資料だったというお褒めの言葉もいただきましたので、今の時代にあった方策をとれば、よいということも実感いたしました。そういったことも含めて、分かりやすい公表を考えていきたいと思っています。

- ・三浦会長

ありがとうございました。概要版みたいなものを作ったり、速報版というような形に位置づけて、「いつ頃、このようなものを出します」という工夫もできるかもしれません。

- ・堀田委員

QRコードを取り上げていただいたり、色々工夫をしていただいて関心も上がってきて非常によかったですと感じます。一方で、電子化であったり、もっと見やすくという点で、見ていただく工夫が、一歩踏み込めてないかなと実感します。虐待でも一歩踏み込むという支援がないと流れてしまうことがあります。こういう行政の取り組みでも、一歩踏み込んだ工夫をすることが大事ななと思います。調査の目的が、子どもたちのためにとか、少し柔らかな、噛み砕いた言葉で作るといった工夫をお願いしたいと思います。ぜひ、もう少し一歩踏み込んだ取り組みにしていければいいなと思います。以上です。

- ・三浦会長

今後のことについてのご意見、ありがとうございました。それでは、ニーズ調査結果のご報告は終了いたします。次の報告事項、「第2期松山市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール」

について事務局からご報告をお願いいたします。

- ・事務局

～「第2期松山市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュールについて」報告～

- ・会長

ありがとうございました。今後のスケジュールですが、ご意見がありましたらお願いします。

～意見なし～

- ・会長

よろしいでしょうか。このような流れになるという心づもりでお願いします。ありがとうございました。それでは、次第3の事務局からの連絡事項について、お願いします。

3.連絡事項

- ・事務局

～連絡事項～

- ・三浦会長

議事については、以上です。今日の全体会は、今の委員の方で開催するのが、最後ということになります。平成27年の3月に第1期の計画を策定し、私も、思い出せば市長さんに直接、計画をお渡しして、5年の期間が経とうとしています。長い間、本当にお世話になりました。改めて厚く御礼申し上げます。

最後に何かありましたら、お願いします。

- ・堀田委員

大変お世話になりました。ありがとうございました。私自身も学びながら自分の活動を振り返りながら参加させていただきましたが、子ども・子育て会議のメンバーの方々は非常に素晴らしい方で、それぞれの持ち場でご活躍されている方ばかりです。その方々と深く交流する機会がなかったのがとても残念です。議事の場所だけではないところでも、意見交換ができるような場所を作った方が、より効果的な会議ができると思いますので、次回の会議に向けての一つの提案として伝えさせていただきます。以上です。

- ・三浦会長

貴重なご意見ありがとうございました。

それでは、この全体会は、閉じさせていただきたいと思います。この子ども・子育て会議、毎回丁寧にご審議いただきまして本当にありがとうございました。皆さまのご尽力で、次へのスタートを切ることができると思います。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

4. 閉会

- ・事務局

三浦会長、ありがとうございました。

以上をもちまして、「平成 30 年度 第 2 回 松山市子ども・子育て会議の全体会」を閉会いたします。

本日は、ご出席いただき、誠にありがとうございました。

(了)